

学校・家庭・地域の強い絆づくり

～「川中中学校区ふるさと協育ネット」2年次の取組から～【下関市 川中中学校区】

地域の概要

下関市街地の北西部に位置し、西に響灘を望む風光明媚な地です。また、交通の便もよく、校区内には住宅やマンションが多く、さらに学校近隣には大型商業施設や金融施設が立ち並ぶなど、住宅地、商業地域として発展してきました。拠点となる川中中学校は平成22年に現在の伊倉新町に移転、新築され、教科センター方式の新しい校舎は4年目を迎えています。

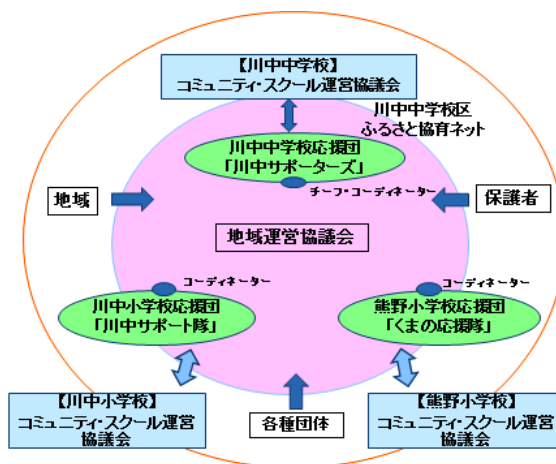
人口	19,757人	
世帯数	8,611世帯	
対象校及び 児童生徒数	川中中学校	663人
	川中小学校	555人
	熊野小学校	859人

組織の内容

「ふるさと下関協育ネット事業」の委託を受け「川中中学校区ふるさと協育ネット」は、平成24年度に立ち上がりました。学校・家庭・地域の強い絆づくりだし、それぞれがもつ力を結集し、互いが協力しながら子どもたちの育ちや学びを支援していこうという目的で始まった取組は、本年度2年目を迎えました。昨年度は、川中中学校の単独校実施でしたが、本年度は校区内の2小学校との連携を図りながら、「地域ぐるみで子どもを育てる」形に少しずつ近づいてきました。

川中中学校は、教科センター方式を取り入れた“新”川中中学校として生まれ変わり4年目を迎えますが、建設時の重要なコンセプトとして「より地域にオープンな学校」を掲げ、校舎棟内には地域の方々が気軽に利用できる「地域交流ラウンジ」を備えています。そのラウンジを拠点として、学校応援団「川中サポーターズ」が活動をしています。「川中サポーターズ」は校内巡回支援を中心として、環境・安全整備支援、学習支援、体育・文化・芸術支援、学校行事や諸活動への支援など、年々活動の幅を広げています。

また、川中中学校区内にある熊野小学校、川中小学校にもそれぞれコミュニティ・スクール運営協議会、学校応援団が設置され、交流や活動の充実をめざして新たに3校合同の「地域運営協議会」を立ち上げました。中学校のコーディネーターをチーフとして、それぞれの小学校のコーディネーターと連携を図りながら各コミュニティ・スクール運営協議会・学校応援団同士の交流や協働も深まりつつあります。



特色・重点的な取組

学校応援団の日常的な取組は、それぞれの学校で昨年度から継続して行っています。本年度は、更に次の2点について重点的に活動の幅を広げてきました。

一つは、「学校応援団が直接的に子どもたちとかかわり合い、活動すること」です。学校、児童生徒、学校応援団それぞれが互いにバランスよく取り組むことができる活動を増やしました。

そしてもう一つは、「3校の連携を強化し、校区全体で子どもたちの育ちを支援する組織をつくること」です。昨年度は、主に各学校がそれぞれのコーディネーターを中心として独自の活動を展開していましたが、本年度は、中学校区全体の地域運営協議会の立ち上げに向けて準備に取りかかりました。2学期には、地域研修会を開き、3校の教職員、保護者、地域の人たちがそれぞれの学校の枠を越えて話し合う機会をもつことができました。

主な活動の紹介

【校内巡回支援】

授業中や休み時間に、校内を巡回し、子どもたちに声をかけています。合間には「地域交流ラウンジ」で情報交換を行い、「川中サポーターズ」の交流の場ともなっています。

【環境・安全整備支援】

本年度、中学校では生徒会整美委員会の取組で毎週水曜日を「トイレ掃除の日」として、特に念入りにトイレをきれいにしようがんばりました。「川中サポーターズ」も掃除の仕方を教えたり、一緒になって掃除に汗を流したりしています。

【学習支援】

別室登校生への学習支援や、夏休みの「質問教室」の支援を行っています。また、学習以外でもコミュニケーションを図っています。

【体育・文化・芸術支援】

国語のワークスペースにある和室では「絵本の読み聞かせ」を毎週火曜日の昼休みに行っています。またホールでは、パッチワークやビーズ細工などを子どもたちに教えています。

部活動では地域の人たちや大学生が積極的に指導や手伝いをしています。

【学校行事や諸活動への支援】

年末には、地域の方を講師に「しめ縄づくり」を開催しました。学校応援団と地域の方を合わせ20名近くが生徒の指導者として活動しました。大人も子どもも大変熱心に手作りのしめ縄づくりに取り組みました。

【川中中校区合同研修会】

2学期には、3校の教職員・保護者・地域の方が一堂に集まり、「地域全体で子どもを育てる」というテーマのもと、グループで話し合いをもちました（熟議）。参加者の中からは「このような集まりが年に何回もあれば、様々な話の中からよいアイデアも出て、子どもたちの健全育成につながる」という声が聞かれました。



トイレ掃除の日



昼休みのパッチワーク



しめ縄づくり



川中中校区合同研修会「熟議」

成果と課題

地域の人たちが学校に入ることに對して、児童生徒も教職員も違和感がなく、それが徐々に当たり前の風景になってきています。日常的な活動に加えて、本年度は、しめ縄づくりなどのイベントも実施しました。地域の人たちが子どもたちと直にかかわり合いをもつことで、子どもたちの育ちを支援できる機会を設けることができました。また、3校合同の熟議も行い、川中中学校区が一つにまとまり、子どもたちを育てていく基盤ができ上がりつつあります。

今後は自校の取組の充実とともに、更に協働してできることを模索、整理し、実施していきたいと考えています。

今後の取組

本年度、地域ぐるみで子どもたちの育ちや学びを支援するための基盤づくりに取り組んできました。3年目を迎える来年度は、3校合同で「ふるさと下関協育ネット」をより充実させ、できる可能性のあることにどんどんチャレンジしてみたいと考えています。さらには、幼・保への積極的な働きかけを図ることで、子どもたちの育ちや学びにつながるとともに、学校応援団や地域の人たちにとってもメリットのある地域に根ざした活動を更に展開していきたいと考えています。